

第2学年 いろいろな音にしたしもう

豊田市立拳母小学校 第2学年 28名 指導者 教諭 日比野 香代

1 題材名 いろいろな音にしたしもう～リズムをつくってあわせよう～（全7時間）

教材曲「森のカーニバル」「かぼちゃ」「コロモックルの音合わせ」

2 題材の目標

- (1) いろいろな音や音色の違いに気を付けて音楽を聴いたり、身の回りから好きな音を探したりする学習に進んで取り組む。(関心・意欲・態度)
- (2) いろいろな音や音色の違いを感じ取り、それらの重なりを聴きながら、音の出し方や組み合わせ方を工夫する。(音楽表現の創意工夫)
- (3) いろいろな音や音色の違いを生かしながら、拍の流れにのってリズムを打つ。(音楽表現の技能)
- (4) いろいろな打楽器の音色の特徴を感じ取り、そのよさやおもしろさを味わいながら聴く。(鑑賞の能力)

3 身に付けさせたい力

- ・表したいものに合わせた音色を選択したり、リズムを考えたりする力
- ・友達と拍を合わせることで、強弱や速度の変化を見つける楽しさを味わう力

4 学習指導要領の内容との関連

(1) 指導事項（器楽）○印はこの題材での主な指導事項

	ア	範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏すること。
	イ	楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。
○	ウ	身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること。
	エ	互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。

指導事項（音楽づくり）

○	ア	声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。
	イ	音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。

指導事項（鑑賞の活動）○印はこの題材での主な指導事項

	ア	楽曲の気分を感じ取って聴くこと。
○	イ	音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。
	ウ	楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。

(2) 指導する【共通事項】の主な内容（空欄の事項はこの題材では指導しない事項）

ア	音色	打楽器の音色
(ア)	リズム	
	速度	速く ゆっくり だんだん速く だんだんゆっくり
	旋律	
	強弱	強い 弱い だんだん強く だんだん弱く
	拍の流れやフレーズ	拍を合わせる
ア	反復	リズムの繰り返し
(イ)	問いと答え	友達のリズムとの呼応
イ	音符、休符、記号や用語	4分音符 4分休符 8分音符 8分休符

5 題材設定の理由

(1) 児童の実態

子どもたちは、4月から「かくれんぼ」の歌に合わせて身振りを考えて歌った。そして次の教材「はしの上で」「たぬきのたいこ」では、曲に合わせて、2拍子・3拍子を感じながら拍に合う手遊びを考え、工夫して身体表現することができた。それにより、9割近くの子が2拍子と3拍子の違いをつかむことができた。子どもたちは、体を動かす活動をするには、特に関心が高い。

前單元「はくにのってリズムをうとう」では、手拍子で、既存のリズムを組み合わせて、2拍子のリズム演奏をしている。ここでは、言葉に合わせて自分のリズムを作ったり、友達の作ったリズムとリレーをしたりして、リズムの横のつながりを楽しんだ。その中で、子どもたちは、拍を合わせることに一生懸命であった。このような子どもたちに、体を動かす活動を交えながら、一人でリズムを作る喜びを味わうとともに、友達とリズムを重ね合わせる楽しさを知ってほしいと願いをかけた。

(2) 本題材の価値

本題材は、身の回りの音の面白さに気付き、自分の音を味わったり友達と音を重ねたりして音遊びをするものである。始めに、鑑賞曲「森のカーニバル」では、様々な打楽器に出会う。その音色を、動物の絵を見ながら聴くことで、動物に合わせた打楽器のイメージをもつことができるだろう。

また、教材曲「かぼちゃ」では、音を重ねることを知り、打楽器の音色の重なりで雰囲気が変わることに気付くだろう。

本学年では、挙母小のピオトープを守る神様を『コロモックル』と称し、図画工作でその姿を創作する学習に取り組む。子どもたちは、「木の上で光をあびるコロモックル」「池の魚と一緒に泳ぐコロモックル」などと創造性豊かに考えていくだろう。そこで、「コロモックルの音合わせ」として、子どもたちが考えたコロモックルのイメージを生かして、楽器の音色やリズムを考え、表現する活動に意欲的に取り組んでいくことができると考えた。また、同じイメージをもった子どもたち同士でグループになり、友達のリズムとつないだり重ねたり繰り返したりするなどの工夫を考えることができるだろう。さらに、普段歌っている歌の強弱や速度を変化させて聴かせることで、子どもたちは自分たちの表現に生かそうとするだろう。このように、子どもたちが自分の思いを生かして活動することを通して、楽器の音色の違いやリズム、強弱・速度の変化を生かした音遊びを十分に楽しむことができると考える。

(3) 評価を生かした指導と教師の支援

「森のカーニバル」では、動物のイメージと音色の相違を言葉で表現したり、実際に楽器を鳴らしてみたりして、イメージと音色が結びつくようにしたい。そして、一人一人のイメージしたコロモックルの言葉から、打楽器を選び、音色やリズムを考えさせたい。

音づくりの活動では、自分の考えた言葉をリズムにできない子には、言葉を聞いて一緒に手でたたいてみたり記譜を支援したりする。

グループ活動では、自分の思いを意欲的に表現できる子と、表現の苦手な子がいる。考えたことを、どの子も表現できるように、イメージと楽器の音色、リズムを記録できるワークシートを用意する。また、練習内容を見取ったり、ワークシートなどで把握したりしながら、考えのまとまらないグループには、「コロモックルはどんなことばを話しているの」「見つからないようにするには、どれくらいの大きさがいいかな」などの言葉がけをし、どの子も意欲的に参加できるように、アドバイスや支援を適切に行っていきたい。

この題材を終えた子どもたちは、音色や強弱・速度の変化や、友達とリズムを重ね合わせることの楽しさに気付くであろう。

6 題材の評価規準

- ア 音楽への関心・意欲・態度
 いろいろな音や音色の違いに気を付けて音楽を聴いたり、身の回りから好きな音を探したりする学習に進んで取り組もうとしている。
- イ 音楽表現の創意工夫
 いろいろな音や音色の違いを感じ取り、それらの重なりを聴きながら、音の出し方や組み合わせ方を工夫している。
- ウ 音楽表現の技能
 いろいろな音や音色の違いを生かしながら、拍の流れによってリズムを打っている。
- エ 鑑賞の能力
 いろいろな打楽器の音色の特徴を感じ取り、そのよさやおもしろさを味わいながら聴いている。

時	ねらい	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
1時	「森のカーニバル」を聴き、いろいろな打楽器を知り、音色のイメージをつかむ。	①曲から聴こえてくるいろいろな打楽器の音色に関心をもって聴こうとしている。 【発言・ワークシート】			①いろいろな打楽器の音色と動物のイメージを聴き分けながら聴いている。 【行動観察・発言】
2時	「かぼちゃ」の歌を歌えるようにする。	②歌詞を見ずに歌えるようにするなど、進んで歌おうとしている。 【行動観察】			
3時	「かぼちゃ」の歌のリズムに合わせて、リズム打ちをする。			①拍の流れによって、友達と合わせて演奏している。 【演奏聴取】	
4時	「コロモックル」のイメージに合わせた音色の打楽器を選んだり、言葉に合わせた短いリズムを作ったりする。		①イメージに合った音の出し方やリズムを工夫している。 【行動観察・ワークシート】		
5時	同じイメージの「コロモックル」に合わせて、自分のリズムと友達のリズムを合わせて演奏する。			②拍の流れによって、友達と合わせて演奏している。 【演奏聴取】	
6時(本時)	強弱や速度を工夫して、グループのイメージに近づける。		②強弱・速度を考えたり試したりして、より近いイメージになるように工夫している。 【演奏聴取・ワークシート】		
7時	「コロモックル」のイメージに合わせた理由とともに、発表する。			③強弱や速度の変化をつけながら演奏している。 【演奏聴取】	

7 題材の指導計画（学習の流れ）…全7時間

拍を合わせることに一生懸命な子どもたち

児童の思い	教師の支援 ◆評価
<p>楽器ってどんな音がするのかな。 大太鼓なら知っているよ。</p> <p>「森のカーニバル」を聴いたよ 1時</p> <p>たくさんの楽器で演奏されていた。知らない打楽器もあったよ。 ギロって、ぼくの机をふでばこでこすった音と似ているよ。</p> <p>打楽器をつかってみたいな</p>	<p>曲を聴いたあと、それぞれの楽器を演奏する真似をしたり、実際に音を出したりして、楽器の音色に親しませる。◆ア①エ①</p>
<p>「かぼちゃ」に合わせてリズムを打とう 2・3時</p> <p>だんだんふえるから、だんだん強くしたいね。 楽器の順番を入れ替えてみよう。</p>	<p>様々な打楽器を体験する。拍に合わせてられるように、何度も歌ったり打ったりする。◆ア②ウ①</p>
<p>コロモックルは、どんな声かな</p>	
<p>コロモックルの言葉を、音とリズムであらわそう 4・5時</p> <p>木の上にいるから、見つからないように、しずかな声だよ。 草の中から、細かくたくさん鳴いて、仲間を見つけるよ。</p> <p>♪♪♪♪♪♪♪♪ (きれいだな) ♪♪♪♪♪♪♪♪ (ここか、あそこだ)</p> <p>木の上は、みんな静かだから、順番に鳴くよね。 水の中は、あんまり音が聴こえないから、一斉に鳴くよ。</p>	<p>様々な打楽器を用意したり、友達と意見交換ができるよう、イメージとリズムを記録できるワークシートを用意したりする。◆イ①ウ②</p>
<p>近くのコロモックルといっしょになると、どんな声かな</p>	
<p>強弱・速度をかえて、コロモックルのイメージに近づけよう 6時（本時）</p> <p>草の中で、見つからないように、少しずつ鳴きます。 水の中では、仲間とお話しているから、重なって鳴きます。</p> <p>みんな小さな音で、見つからなそうですね。でも速すぎて何言っているかわからないと思うので、ゆっくりしたらいいと思います。 みんなで鳴いて、楽しそうでした。でも〇〇くんの音が聴こえなかったの、もう少し大きくしてもいいと思います。</p>	<p>イメージが似ているグループ同士を設定し、イメージと音色・リズムの違いを感じさせる。話型を提示し、思いを伝えられるようにする。◆イ②</p>
<p>みんなのコロモックルの声が聴きたいな</p>	
<p>みんなで コロモックルの声を聴き合おう 7時</p> <p>木の上でしずかにしているのがわかったよ。 水の中でたくさん鳴っていて、おもしろいね。</p>	<p>聴くポイントが視覚的にわかるように、音の重ね方や、強弱・速度を工夫したところがわかるような板書にする。◆ウ③</p>

公開授業指導案

音色、強弱、速度の変化、リズムを重ね合わせることの楽しさに気付く子どもたち

8 本時の展開

(1) 本時のねらい (本時 6/7)

強弱・速度を工夫して、グループのイメージに近づける。

(2) 学習の展開

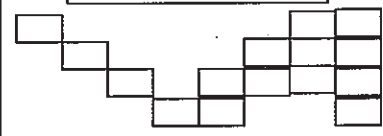
時	学習内容	学習活動	教師の支援 ◆評価
出 合 う 8 分	1 リズム曲を歌う。	(1) 「はじまりのうた」を歌う。 初めて「おわりのうた」を聴く。 いつもよりゆっくりだね、なぜかな。	・速度や強弱・音色の違いで印象が変わることに気付かせ、本時のねらいに迫る。
速さや強さをかえて、コロモックルの声をもっとイメージに近づけよう			
か か わ り 合 う 20 分	2 本時の課題を知り、イメージに近づくよう、グループで考える。	(1) どうすればイメージに近づくことができるか、考えて試す。 もうすぐ朝で、はやく隠れなきゃいけないから、最後は速くしようよ。 おしゃべりが楽しいけど、もっとやさしくしゃべりたいから、タンバリンをそっとたたいてみよう。	◆強弱・速度を考えたり試したりして、より近いイメージになるように工夫している。 【ワークシート・発言】 ・話し合いやワークシートから、イメージと音楽をつなげるために、「強くしたことイメージに近づいたね」と褒めたり、「どうしてここを強くするの」と理由を尋ねたりする。 (ライブ評価)
みんなのリズムも聴いてみよう			
伝 え 合 う 17 分	3 他のグループの鳴き方をみんなでも聴いて、よいところやもっとよくなることを伝え合う。	(1) よいところやもっとよくなることを伝え合う。 木の上にいるコロモックルは、だんだん朝になって眠たくなってきます。だから、最初は大きくて、だんだん小さくゆっくりになります。やってみます。 ゆっくりになると、眠たくなる感じがわかりやすいですね。 静かになるとゆっくりと一緒にになると、眠たくなる感じになりますね。	・全員に強弱や速度について考えさせるために、強弱・速度について考えられているグループを指名する。 ・全員で強弱や速度について考え、表現の工夫につなげられるようにするために、ポイントとなる言葉を板書したり、聞き返して印象付けたりする。
これでイメージがつたわるよ			
	4 次回の発表に向けて、イメージと音楽が合っているか、確かめる。	(1) 発表を受けて、自分たちが自信をもって発表できるよう、工夫を記録し活動する。 (2) 「おわりのうた」を歌う。	

(3) 学習評価の進め方

- ◆強弱・速度を考えたり試したりして、より近いイメージになるように工夫している。
- B評価と判断できる児童（活動の中で一人一人の児童によりそい、考えている様子から見取る）
 - ・自分のグループのイメージを伝え、それに合うように自分の「コロモックル」のリズムを演奏しようとしている。
 - ・強弱・速度を変えて試している。
- A評価と判断できる児童（B評価にプラスして）
 - ・友達の強弱・速度に対して、根拠をもって良さを認めたり、考えを提案してそれを自分の演奏に生かしたりしている。
- C評価と判断できる児童への対応
 - ・アドバイスを受け、強くするのか弱くするのかを考えさせたり、一緒にやってみたりする。
 - ・隣の子と一緒にタイミングをとってもらおうようにする。

(4) 板書計画

強さ・はやさをかえて、コロモックルの声をもっとイメージにちかづけよう

	強さ	はやさ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">おしゃべりがもりあがる</div> 	おしゃべりがもりあがる	・だんだん大きく
	だんだんねむくなってきた	・だんだん小さく ・だんだんゆっくり
	あっ、だれかがくるぞ	・きゅうに小さく ・ずっといっしょ





強く

はやく

公開授業指導案

例 (グループごとのホワイトボードを譜面台に置いて提示)

おしゃべりがもりあがるコロモックル

A子		〔 かくれんぼで「まあだだよ」 〕
B男		〔 おいかけっこで「ほらこっち」 〕
C子		〔 みんなにむかって「きをつけて」 〕
D男		〔 木の上で「とおくが見える」 〕